

内務省 懇談會資料（通信院提案）

昭一九四一三

一、内務省、通信院連絡協議會設置ニ關スル件

説明

先般ノ閣議ヲ經タル「電氣通信設備ノ動員整備ニ關スル件」中、内務省關係事項ノ圓滑ナル實施ヲ期センガ爲、内務省及通信院ノ擔當官ヨリ成ル連絡協議會ヲ設置ノコトト致度

此種ノモノ（同）其ノ例アリ

三、内務省及通信院ノ電氣通信施設ノ現状把握ニ關スル件

説 明

内務省及通信院ノ現有電氣通信施設ノ全貌ヲ明ニシ、且夫々ノ特異ナル設備ニ付認識ヲ深メ、以テ電氣通信設備ノ整備ニ資センガ爲、相互ノ關係官ヨリ成ル調査隊ヲ編成ノ上、現地ヘ派遣ノ事ト致度

三 緊急電氣通信施設工事、促進ニ關スル件

說 明

各應電氣通信設備、整備、母胎タルベキ通信線路等外、ケーブル網改造、
工事及國土防衛、死命ヲ制スル防衛通信施設工事、飛躍的促進ヲ圖
ラシムガ爲、之等工事遂行上、内務省關係事項ニ付協力ヲ仰キ給、例
ヘバ勤勞報國隊等、學務施設、食糧、地下足袋、重手及靴類、陸配
或ハ轉廢業者所有、建物、調度品、什器及廢具類、割愛方要望ス

東京、大阪、福岡、札幌、各官公庁
各省、各官公庁

大日本帝國政府

案

年

月

日

逓信院總裁

內務次官宛

內務、逓信院將委員會設置ニ關スル件

電氣通信設備ノ動員整備ニ關スル閣議決定並之ニ關スル貴官トノ申
合事項ノ協定ニ伴ヒ、別紙規約ニ依ル貴省及當院ノ關係官ヨリ成ル
連絡委員會ヲ設置シ、之ガ圓滿適切ナル具體的實施ヲ圖ルコトト致
度此段得貴意候

追テ當院ニ於テ選定シタル委員ハ左記ノ通りニ有之候處今後ニ於
ケル委員ノ異動ニ關シテハ規約第四ニ依リ幹事ヲシテ處理セシム
ルコトト致度候

大日本帝國政府

通信院側委員

同	同	工務局	總務局	業務局	同	工務局	無線課長	通信院技師	吉田正
同	同	線路課	主計課長	電務課長	同	無線課長	通信院書記官	網島毅	
同	同	通信院技師	和氣幸太郎 (幹事)	矢部嘉彌	小野吉郎	網島毅			
岩永與吉	諸津忠治								

記

大日本帝國政府

通信院側委員

通信院側委員

吉田正

網島毅

小野吉郎

矢部嘉彌

和氣幸太郎 (幹事)

諸津忠治

岩永與吉

大日本帝國政府

外務省	陸軍省	海軍省	農林省	商工省	逓信省	文部省	司法省	內務省
外務大臣	陸軍大臣	海軍大臣	農林大臣	商工大臣	逓信大臣	文部大臣	司法大臣	內務大臣
外務省	陸軍省	海軍省	農林省	商工省	逓信省	文部省	司法省	內務省
外務大臣	陸軍大臣	海軍大臣	農林大臣	商工大臣	逓信大臣	文部大臣	司法大臣	內務大臣

大日本帝國政府

別紙

內務、逓信連絡委員會規約（案）

- 一、本委員會ハ內務、逓信連絡委員會ト稱シ、內務省及逓信院ニ於テ選定シタル關係官若干名ヲ以テ之ヲ構成ス
- 二、本委員會ハ昭和十九年四月六日閣議ニ於テ決定シタル決戰非常措置要綱ニ基ク電氣通信設備ノ動員整備ニ關スル件並ニ昭和十九年四月十一日右ニ關シ內務次官、逓信院總裁間ニテ協定シタル申合事項ノ具体化ニ關シ、其ノ圓滿的切ナル運用ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 三、本委員會ハ必要ニ應ジ內務省又ハ逓信院ニ於テ開催ス
 內務省ニ於テ開催スルトキハ內務省警保局警務課長、逓信院ニ於テ開催スルトキハ逓信院工務局線路課長之ヲ主宰ス
- 四、本委員會ノ庶務ヲ整理シ且內務省、逓信院委員間ノ連絡ヲ圖ル爲
 內務省、逓信院委員中若干名ヲ幹事トシ外ニ書記若干名ヲ置ク
- 五、本委員會ハ昭和十九年 月 日ヨリ之ヲ設置ス

（終）